

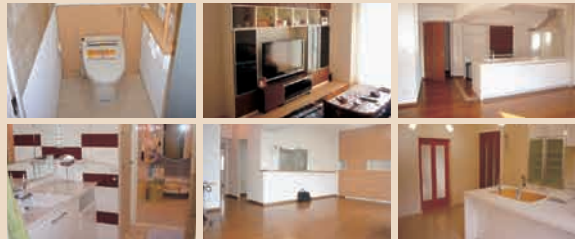
「職人の腕」——この宝を活かす営業。 信頼の上に成り立つ人間関係は、今だ健在する。—— 廣瀬 大三

リフォームは壊す技術、修復する技術があって、長持ちする家が再生される。ライフ多摩には、この道40年になる昔ながらの職人気質をもつ社長の廣瀬重夫と、その技術を叩き込まれた職人がいる。昔は施主が直接工務店に仕事を依頼し、職人は施主の思いを受けてその腕を発揮した。しかし、今ごろは大手の下請けとして、依頼された部分だけをする仕事が多くなった。施主の顔が見えない仕事は「一生懸命やる」だけだ。その父の後ろ姿をずっと見てきたのがライフ多摩の営業、長男の廣瀬大三。この父の技術を生かすため、そして昔ながらの職人の魂を消さぬよう、自分が出れることを見つけた。

「父は根っからの職人。家の中では無口で、小さい頃は怖い人だと思っていました」。だから、「絶対に一緒に仕事はしない」と思っていた。お小遣いは現場の仕事を手伝って貰う。廣瀬は中学生の時から現場によくついて行き、掃除などを手伝った。それが、大学生になる頃には一緒に壁紙を貼り、施工も手伝うようになっていた。「ひとつの現場が終わり、納めるのが楽しい」と思えた。きれいになったと喜ぶ施主の姿を見るのが嬉しいし、施主と一緒に喜ぶ父が誇らしく見えた。廣瀬は大学を卒業後3年間大手内装メーカーに勤め、営業のノウハウと共にインテリアに必要な素材を勉強した。そしてライフ多摩の営業として、下請けではない、職人の技術を生かす仕事を、父と共にしていく覚悟をした。リフォームをすることで、新しい生活が始まる。だから廣瀬は施主にきち

んと納得をしてほしいと思う。提案は予算を中心にするのではなく、施主の希望を深く伺う。素材は値段に関係なく全て紹介する。不思議なのは、どんな暮らしがしたいかをしっかり話していると、家族にとって大切なことが見えてくる。だから素材選びは、その大切なところを重視して、感性に合うものを選んでもらう。廣瀬はできる限りの事をしたい。だから施主が納得できるリフォームになる——。いつだったか、父の廣瀬が「デザインは若いもんにまかせておく」と嬉しそうに言っていたことがあった。お互いに確認し合う事などないが、親子の絆は、いつの間にか深まっている…そんなものなのかも知れない。親子だけではなく、顔が見える付き合いが、手抜きだとか、偽装など無い、本来の姿なのだろう。

技術とデザインで家が生き返るリフォームを



INAX LIFA
リフォーム

REFORM

FREE DIAL. 0120-650-405

www.lifatama.com

多摩市貝取1-47-6

営業時間 / 8:30~18:00 定休日 / 祝日のみ

TEL / 042-373-8866

ライフ多摩
株式会社インテリアヒロセ



ライフ多摩 - 廣瀬 大三

現在40歳。父と似ているのは口べたなところ。仕事の話はスムーズだが、自分の事を喋るのは照れくさい…。インテリアを決める時、施主のイメージと潜在的に求めるものが違ったりする時がある。心が求めるインテリアを造りたいと思う。

